

2 0 2 5 年度業務実績報告書

提出日 2026 年 1 月 7 日

1. 職名・氏名 准教授・今井拓哉

2. 学位 学位 博士、専門分野 理学、授与機関 金沢大学、授与年 2019 年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 古生物学演習(2 単位)、生物進化学(2 単位)、地球科学フィールド実習 I(2 単位)、脊椎動物の進化(2 単位)
② 内容・ねらい 地学・古生物学の知識を通し、考える力、観察する力を磨く。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 専門的な知識だけでなく、身の回りで観察・体験できる物事に関連付けられるよう講義内容を工夫した。また、それぞれの講義で得た知識を学生が自身の専門分野に紐づけられるよう心がけた。 【フィールドワーク等 2 件】
(2)その他の教育活動
内容 1. 福井県立恐竜博物館研究員を兼務し、博物館での教育普及活動を行っている。 2. 放送大学福井学習センターの非常勤講師(面接授業担当)を勤めている。 3. 地域連携研究の一環として、バーチャル技術を活用した理科教育の実践を進めている(県立勝山高校、大日本印刷株式会社、地球科学可視化技術研究所株式会社などとの連携事業)。 4. 白山市手取層群化石調査団員として、同市内における発掘の指導や一般向け講座を行っている。 5. 大日本印刷株式会社と連携し、一般向けの恐竜学講座等を企画・実施している。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	
今井拓哉. 2025. フクイプテリクス, 卵殻化石. 「Kitadani—恐竜時代の福井を解き明かす—」. 一島啓人、関谷透、湯川弘一、静谷あてな、小泉早千穂(編). 福井県立恐竜博物館. p. 60-61, 72.	
	【1 本】
② 学術論文(査読あり)	
1. 今井拓哉・河部壮一郎. 2025. 恐竜および鳥類における化石骨の微細形態・構造の可視化—シンクロトン放射光 CT 解析における進展. 文化資源が秘めた歴史物語—先端分析技術で鮮やかに読み解く—. 新知創造学際領域形成(学際ハブ)事例集編集委員会(編). 東北大学金属材料研究所新知創造学際領域形成推進室: 50-53. 2. Ishikawa, A., Zheng, W., Imai, T., Hattori, S., Shibata, M., Kawabe, S., and Jin, X. 2025. <i>Psittacosaurus houi</i>, a longer snouted psittacosaurid from the Lower Cretaceous Lujiatun Unit of Yixian Formation, China, with the synonymy of the unresolved genus <i>Hongshanosaurus</i> revisited. PeerJ 13: e19547.	
	【2 本】
③ その他論文(査読なし)	
	【0 本】
④ 学会発表等	
1. 楠橋直・伊左治鎮司・大塚健斗・今井拓哉・河部壮一郎. 2025.6. 石川県白山市の手取層群桑島層(下部白亜系)から見つかったゴビコノドン科真三錐歯類. 日本古生物学会 2025 年年会. 2. 幸地佑・河部壮一郎・今井拓哉・柴田正輝・星野真人・上杉健太郎. 2025.6. シンクロトン放射光を用いた X 線 μCT 法による <i>Fukuisaurus</i> の歯冠セメント質の組織学的解析. 日本古生物学会 2025 年年会. 3. Imai, T., Tada, S., Kawabe, S., Hattori, S., Hoshino, M., Sakane, K., and Evans, D. C. 2025.9. Revisiting the Anatomy of a Juvenile Troodontid Dentary Based on a Historic Specimen, ROM 1445. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025. 4. Oyama, N., Yukawa, H., Imai, T., and Azuma, Y. 2025.9. Insect-Bearing Horizon of the Upper Cretaceous Omichidani Formation (Katsuyama, Fukui, Japan): Insights from the Goshogahara Locality. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025. 5. Nishi, H., Kamiya, T., Ando, H., Noriki, S., Oishi, Y., Kawabe, S., Shibata, M., Takata, H., Tsuchiya, M., Imai, T., Nakamura, H., Hattori, S., Oyama, N., and Kinoshita, S. 2025.9. Faculty of Dinosaur Paleontology, Fukui Prefectural University: a New Hub for Dinosaur Paleontology Education and Research in Japan. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025. 6. Ishikawa, A., Zheng, W., Imai, T., Hattori, S., Shibata, M., Kawabe, S., and Jin, X. Cranial Anatomy of <i>Psittacosaurus houi</i>, a Long-Snouted Psittacosaurid from the Lower Cretaceous Lujiatun Unit of the Yixian Formation, China, with a Reevaluation of the Synonymy of <i>Hongshanosaurus</i>. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025. 7. Kochi, T., Kawabe, S., Imai, T., Shibata, M., Hoshino, M., Uesugi, K., and	

Evans, D. C. 2025.9. Three-Dimensional Visualization of Ankylopollexian Dental Histostructure Based on Synchrotron Analysis. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025. 8. 土田真誓・山本啓太・藤本雅則・河部壮一郎・<u>今井拓哉</u>・多田誠之郎. 2025.12. ダチョウの鼻腔における冷却効果—非鳥類型恐竜類の体温調節の解明を目指して—. 日本古生物学会 第175回例会. 9. <u>今井拓哉</u>. 2025. 福井の地学・古生物学研究から恐竜を理解する. 初代星初代銀河研究会 2025. 【9件】
⑤ その他の公表実績 1. <u>今井拓哉</u>. 2025. バーチャル技術を活用した新たな古生物学展示や教育普及活動: 福井県立大学の事例. 全科協 News 56: 6-8. 2. <u>Imai, T.</u>, Kamiya, T., Kawabe, S., Nakamura, H., Takata, H., and Tsuchiya, M. (eds.). 2025. Program and Abstracts of the 6th International Symposium on Aian Dinosaurs in Japan 2025. ISAD2025 Organizing Committee, Fukui. 126pp. 【2本】
(2) 科研費等の競争的資金獲得実績
[学内] 1. バーチャル技術を活用したジオ・スポット教育モデルの開発と、高大連携による地域のジオに関する教育普及. R7 年度地域連携研究推進支. [学外] 1. 絶滅恐竜類の社会性形成における、鳴き声による種内意思疎通の評価. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C). (研究担当者). 4,680 千円(R5～7 年度).
(3) 特許等取得
(4) 学会活動等
1. アジア恐竜協会事務局. 事務局員. 2016～現在に至る. 2. 古生物学若手のための会. 幹事. 2018～現在に至る. 3. 白山市手取層群化石調査団. 団員. 2019～現在に至る. 4. 日本古生物学会広報幹事. 2022～現在に至る. 5. International Symposium on Asian Dinosaurs in Japan 2025 作業部会長代理. 2025～現在に至る.

5. 地域・社会貢献活動

1. 福井県立恐竜博物館. 研究員. 2019～現在に至る.
2. 地球科学可視化技術研究所恐竜技術研究ラボ. 客員研究員. 2020.～現在に至る.
3. 株式会社恐竜総研. 技術部長. 2021.～現在に至る.
4. 2025.1. しずおかバーチャルスクール「日本の恐竜～恐竜王国福井のなぞ～」. 静岡県. 講師.
5. 2025.3. 講演会「恐竜学部キックオフイベント: X 線 CT スキャンが拓く、新時代の恐竜化石研究」. 福井県立恐竜博物館. 講師・通訳.
6. 2025.5. ティラノサウルス実物大頭骨模型制作. 株式会社恐竜総研. 学術指導.
7. 2025.7. 福井県立恐竜博物館特別展講演会「スピノサウルスー白亜紀の失われた巨大恐竜」. 福井県立恐竜博物館. 通訳.
8. 2025.8. 荘川化石フォーラム 2025 講演会「1 億年前の日本の恐竜たち」. 岐阜県博物館. 講師.
9. 2025.8. 稲城市立 i プラザ夏の学習シリーズ 2「恐竜に迫る～福井の恐竜研究から世界へ～」. 稲城市. 講師.
10. 2025.8. 第 9 回「山の日」全国大会 FUKUI 2025. 第9回「山の日」全国大会実行委員会事務局. 共同出展(株式会社モンベル).
11. 2025.8. 企画展「見かたを変える、ふしぎな恐竜展 2025」“恐竜研究者がやってくる！”今井拓哉先生と一緒に福井の恐竜について学ぼう！. 大日本印刷株式会社. 講師.
12. 2025.9. 政府国際広報動画. 株式会社CNインターボイス. 取材協力.
13. 2025.9. ～福井県立大学恐竜学部の先生や学生とめぐる～恐竜体験合宿. 株式会社恐竜総研. 講師.
14. 2025.9. 富山大学サイエンスフェスティバル 2025「世界の恐竜卵化石研究と、日本卵化石の重要性」. 国立大学法人富山大学. 講師.
15. 2025.9. コ・メディカル形態機能学会第 23 回学術集会・総会. コ・メディカル形態機能学会. 出展.
16. 2025.9. 講演会「第 6 回アジア恐竜国際シンポジウム関連講演会『アジアの獣脚類: 発掘と研究の最前線』」. 福井県立恐竜博物館. 通訳.
17. 2025.10. 【第三回】ダイナソーベース・ファンコミュニティイベント. 山耕株式会社. 講師.
18. 2025.10. サイエンスアゴラ 2025「バーチャル技術で“もっと”学んで楽しむ未来の恐竜学」. サイエンスアゴラ 2025 運営事務局. 出展.
19. 2025.12. 県政情報動画制作. 福井県. 出演.

6. 大学運営への参画

(1)補職
恐竜サークル DiNo. 顧問. 2020～現在に至る.
(2)委員会・チーム活動
恐竜学部(仮称)設置 PT. 委員. 2021～2024. 情報教育・DX委員会. 2023～現在に至る. リポジトリ部会. 2025～現在に至る.
(3)学内行事への参加
1. 2025.3. 恐竜学部キックオフイベント. 企画・講師. 2. 2025.4. 恐竜学部入学式. 企画・講師. 3. 2025.4. 福井県立大学-株式会社モンベルの包括連携協定. 企画. 4. 2025.8. 恐竜学部-公益財団法人高輝度光科学研究センターの連携協定. 企画・実行. 5. 2025.8. 恐竜学部オープンキャンパス. 企画・講師. 6. 2025.9. 恐竜学部-株式会社大日本印刷株式会社の連携協定. 企画・実行. 7. 2026.1. 恐竜学部-モンゴル科学アカデミー古生物学研究所の MOU. 企画・実行.
(4)その他、自発的活動など